

山形県 戸沢村

豊かな自然に四季のかおりと舟唄のこだまする村をつくろう

とざわむら 議会だより



2025 No. 155

2025 年 3 月定例会

2p 3月定例会 令和7年度一般会計 **47億1,300万円を可決**

3p **予算特別委員会** 一般会計 特別会計

4~5p 条例の改正 補正予算 人事案件 臨時会

6~12p 一般質問 **村政を問い直す！** 6議員登壇

13p **常任委員会** 議会日誌(1月~3月)

14p **ご卒業おめでとうございます** 編集後記・表紙の言葉

令和7年度一般会計予算

47億1,300万円を可決

(一般会計予算、前年度対比微増7.5%増)

令和7年
3月
定例会

令和7年第1回定例会初日3月6日に、議員全員をもって構成する予算特別委員会を設置のうえ審査することを決定し、3月7日に一般会計予算、10日に特別会計及び企業会計の予算を審査しました。

全会計、原案のとおり可決すべきものと委員会として決定し、定例会最終日の本会議において可決しました。

各会計ごとの予算額	会 計 名		予 算 額	前年度比
	一 般 会 計		4,713,000,000	7.5%
	特別会計	国民健康保健	17,200,000	26.5%
		後期高齢者医療	65,100,000	△ 4.3%
		介護保険	732,000,000	△ 2.4%
	企業会計	簡易水道事業	413,697,000	19.0%
		下水道事業	340,279,000	△ 8%

3月定例会は6日から11日までの6日間の会期で行われた。今年で9年目となる「舟下り議会」。戸沢村の観光客の増大、観光産業の発展を願い、本会議場では船頭さんの法被を着用して、観光PRを図られた。

今定例会では、補正予算、令和7年度予算、条例、人事案件等、1議案の撤回を除き可決した。

一般質問には6議員が登壇し、未整備圃場の基盤整備、村長の考える主要施策、災害関連、被災者が求める情報提供と寄り添う語らいの施策、豪雨災害復旧復興策、今後の農業等々、多岐にわたる議論が交わされた。

主な予算内容は、以下のとおりです。

- 保育園 I C T 化推進事業 537万円
- 窓口デジタル化推進事業 2,462万円
- 村政70周年記念事業 1,099万円
- 第5次総合計画後期基本計画及び第3期総合戦略策定費 700万円
- 地域福祉計画策定事業 290万円

予算特別委員会



左：阿部光樹副委員長 右：柿崎英矢委員長

一般会計

Q 固定資産税が伸びている。7月豪雨により資産価値は下がっているのでは。減免措置、課税のありかたは。

A 家屋、建物については令和6年度に救済措置を行つています。令和7年度は相互原点補正（価値の下落分を反映させる）、税額に反映させています。

Q 固定資産税が伸びている。7月豪雨により資産価値は下がっているのでは。減免措置、課税のありかたは。

A 住めない家屋があります。住めなくとも課税されます。減免の対応が考えられます。

Q ふるさと納税で令和6年度予算1億2千万円、令和7年度予算1億6千万円。他町村が伸びている中、自主財源も少なく基金も減っている状況で、1億6千万円の予算は十分と言えるのか。

A 大切な収入です。4

月1日から委託業者が変わり、しっかりとしたベイスを築き、3億円を目標にふるさと納税収入を伸ばしたいと考えています。企業版も大切で、トップセールを行いたいと考えています。

Q コメのウェイトが多く必要量の確保が必要です。

A 返礼品の98、99%がお米です。地元業者、委託業者と協議し進めたいと考えています。

Q 企業支援交付金の単価等は。

A 令和6年度より上限額を増やしています。1件、100万円を計上しています。

Q 地域活性化企業人派遣事業の効果、成果は。

A 企業人はふるさと納税と、DX推進にそれぞれ1名お願いしています。DXについては令和6年10月から計画を作成しています。

Q ぼんぼ館の修繕に700万円計上されているが。

A 防災設備が老朽化のため、更新費用です。

Q 地域おこし協力隊事業で、村と協力隊とのマッチングが必要では。

A 鳥獣対策サポーターを考えています。村とのマッチングに絞った形でのミッションを考えています。

Q ぼんぼ館施設管理運営事業費の内容は。

A 燃料高騰により、冬場、プールの温度を上げることが難しい状況です。委託料はプール教室のインストラクターの人員費に充てられます。

Q 村政70周年の内容は。

A 開催日は10月4日（土）、会場は中央公民館です。

Q ペーパーレス会議システム賃借料37万円の対象は。

A 議会運営に考えております。総務費紙代に数百万円かかっており、削減効果が出るものと考えています。

Q 高齢者除雪サービス事業扶助費200万円予算計上されていますが、除雪を手助けする人が減少傾向にある。この状況をどう考えるか。

A どの地区においても人材不足が課題となっております。

特別会計

【後期高齢者医療特別会計】

Q マイナ保険証の書き換えは何年か。手数料はかかるのか。

A データの有効期限は5回目の誕生日までとなります。無料ですが、紛失時は有料となります。

います。社会福祉協議会と協議したい。

Q 健康増進事業としての、現在の取り組みは。

A 生涯学習センターで木曜日（週1回）実施。栄養、運動、体力測定などです。スポーツクラブではウォーキング等を行っています。栄養指導は、ほし薬局さんが行っています。

Q 鳥獣対策に協力隊が当たると聞いている。着任する方の情報は。

A 令和7年度から1人着任します。千葉県出身男性、20代です。

Q 配分通知が決まった。飼料米、加工米、備蓄米の考えは。

【介護保険特別会計】

Q まごころ荘の待機者は。

A 村外含めて64名です。

【簡易水道事業会計予算】

Q 世帯数・人口が減ってきている状況で、上下水道事業の見直し時期が来ているのでは。考えは。

A 人口は減ってきています。給水量を考え施設規模を検討する必要があると思います。

令和7年
3月
定例会

条例改正（設定）、 補正予算等を審議しました

一般会計補正予算 （第11号）

補正額5億3500万円を減額し、可決しました。歳入、歳出の合計はそれぞれ、68億5100万円になります。

経営体育成基盤整備事業負担金、水利施設保全高度化事業負担金及び除排雪経費等の増額、繰越明許の設定、地方債限度額の変更が、今定例会で可決されました。

条例制定等

○ 戸沢村課設置条例の一部を改正する条例

機構改革により、交通安全に関する事項は危機管理課、有害鳥獣対策及び猟友会に関する事項は産業振興課となります。

○ 戸沢村交通安全条例の一部を改正する条例
道路交通法改正に伴い改

正されました。

○ 戸沢村職員定数条例の一部を改正する条例

職員の定数配分の変更に伴い改正されました。

○ 戸沢村職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例

職員の看護休暇等に関する条例が改正されました。

○ 戸沢村一般職の給与に関する条例

人事院勧告に伴う給与法等改正により改正されました。

○ 戸沢村税条例等の一部を改正する条例

情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るため、改正されました。

○ 戸沢村いきいき100年の里の設置及び管理に関する条例の一部を改正する

条例

燃料等物価高騰に伴い入浴料、プール・休憩室・全館施設・会議室の利用料金の上限が改正されました。

○ 戸沢村へき地診療所一部負担金、使用料及び手数料条例の一部を改正する条例

診断書等の内容が細分化されます。

○ 令和6年7月豪雨に係る災害被災者に対する戸沢村介護保険料の減免の特例に関する条例の設定について

令和6年7月豪雨災害による被災者の介護保険料の免除を図るため提案されました。

住宅の被災程度、合計所得額にに応じて令和6年度賦課の介護保険料が減免されます。損害程度に応じた割合は、10分の10から2分の1まで。合計所得額に応じた割合は10分の10から10分の8まで軽減又は免除され

ます。

ます。

○ 戸沢村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
省令の改正に伴い改正されました。

○ 戸沢村包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
省令の改正に伴い改正されました。

○ 戸沢村公共下水道条例の一部を改正する条例
政令の改正に伴う所要の改正
省令の改正に伴い改正されました。

○ 戸沢村消防団条例の一部を改正する条例
災害時の出場手当が改正されました。時間あたりの

手当に区分されました。

その他

○ 戸沢村生涯学習センターの指定管理者の指定

指定管理者の指定には議会の議決が必要です。

指定管理者は特別非営利活動法人とざわスポーツクラブとします。

指定期間は令和10年3月31までの3年間となります。

○ 戸沢村若者総合施設の指定管理者の指定

指定管理者は特別非営利活動法人とざわスポーツクラブとします。

指定期間は令和10年3月31までの3年間となります。

○ 戸沢村農村環境改善センターの指定管理者の指定

指定管理者は特別非営利活動法人田舎体験塾つのかの里とします。

指定期間は令和10年3月31までの3年間となります。

○ 工事請負契約の締結について

予定価格5000万円以上の工事契約を締結するのは議会の議決が必要となります。

工事名 令和6年度鞭打野揚水機災害復旧工事
受注者 産電工業株式会社
山形営業所

人事案件

○ 人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護法の規定に基づき提案されました。

早坂 誠也 氏



一般会計補正予算を可決

16,900万円を計上し

総額73億8,600万円に

令和7年

第1回
臨時会

1月24日開催

農林水産物等災害対策事業、とざわ応援商品券配布事業、農地農業用施設災害復旧事業に要する経費等予算が可決されました。戸沢村定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例も可決されました。

一般会計補正予算を可決

150万円を減額し

総額68億4,950万円に

令和7年

第2回
臨時会

3月21日開催

第1回定例会後の財源確保、減額等に係る予算を可決しました。また、みどりの丘住宅1棟の譲渡申請書が提出されたことから戸沢村定住促進受託の設置及び管理に関する条例の一部が改正されました。加えて、工事請負契約の一部変更についても可決されました。

村政を問い、正す！

6名の議員が一般質問



一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかチェックするもの。

- | | |
|---|------|
| I 加藤 政一 議員 | 7 P |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 未整備圃場の基盤整備は ● 古口地区の災害対策への要望活動は ● 防災集団移転事業を進めて行く上での人的配置は十分か ● 冬の高齢者への支援策は ● 少子化対策は | |
| II 岡田 孝一 議員 | 8 P |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 村長の考える主要施策とは ● 令和6年7月豪雨災害の復旧状況は ● 今後の高麗館の展望は | |
| III 荒川 和明 議員 | 9 P |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 災害関連について ● 企業誘致について | |
| IV 安食 勇 議員 | 10 P |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 被災者が求める情報提供と寄り添う語らいの施策は ● 民家周辺の土砂崩れ又は堆積した砂防堰堤の対策は ● 悩まれる企業に対しての村としての取り組みは ● 住民参加型の農業振興へ向けた施策の考えは ● 手軽なスイーツで振興に繋ぐとざわ道の駅のあり方は ● 今神の湯を少しでも活用して元気に振興させる考えは | |
| V 柿崎 英矢 議員 | 11 P |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 豪雨災害復旧復興策について | |
| VI 荒木 誠 議員 | 12 P |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 今後の農業について ● 高麗館の活性化について | |

未整備圃場の基盤整備は

問 圃場の未整備地区に、耕作放棄地を増加させないため、基盤整備事業をどのように進めて行くのか。

村長 古口地区の農地について、基盤整備事業採択に向け推進協議会を設立することを決定しましたが、豪雨災害に見舞われ、休止せざるを得ない状況になっています。

災害以降、基盤整備への声が上がっており、調整が必要と考えています。地域計画と並行して、各地区との話し合いを災害復旧工事が落ち着き次第取組んでい

く考えです。

古口地区の災害対策への要望活動は

問 古口地区住民の不安解消に向けた災害対策の要望活動への基盤的資料整備は、

村長 今災害を教訓とするためにも、古口地区の内水被害の原因を説明することが重点課題です。現在坊の沢以外の原因を特定中で、国県とともに、雪解け後に関係施設の現地調査に向け調整中です。

一般質問



加藤政一 議員

防災集団移転を進めて行く上での人的配置は十分か

問 災害対応により、業務量が増加し、防災集団移転事業を進めて行く上で、人的配置は。

古口特殊堤防の補修は、6年度に擁壁天端のパラペットの補修を3月に実施する予定です。
7年度事業として、特殊堤防の実態調査を行うと報告を受けています。今後、国県と連携し、施設の適正な運用について協議していきます。



擁壁天端のパラペット

村長 県より2名の職員を派遣していただき事業の推進体制は確保されています。本格的に事業着手の段階で、さらに体制を強化したいと考えています。



集団移転対策室



冬の高齢者への支援策は

問 燃料等が高騰している中で、除雪作業を自力で頑張っている高齢者に支援できないのか。

村長 地域づくりと高齢者対策で必要と考えますが、今後の検討課題と思います。

少子化対策は

問 希望する誰もが結婚し、安心して産み育てられる社会に向けた行政の取り組みは。

村長 村は、子育て応援住宅等の環境整備と、学校給食の無償化、卒業祝い金の新設、出産祝い金、新入学児童祝い金の引き上げなどの支援をしています。婚活事業として出会い応援補助金、結婚新生活支援事業補助金を新設しました。
婚活に関わる村民主体のボランティア団体と連携し、婚活事業を進めて行きます。

一般質問



岡田孝一 議員

村長の考える主要施策とは

問 加藤村政主要施策への思いとは。

村長 被災件数と事業費内訳また村負担の概要は。

村長 7年度予算は過去最大の規模で編成し昨年の豪雨災害の復旧「防災集団移転促進事業」を重点とし、自治体DXの推進事業、村政70周年記念事業など、村民と共に「誇れるむらづくりを目指して」堅実な財政運営を行っていきす。

村長 災害査定を受けた農地・農業用施設は、39件の事業費約8億円で内村負担は、約7200万円です。林道3箇所・公共土木施設は25件で7億5500万円。

問 多少の村負担も念頭に置きながら、県に強く要望して頂きたい。

村長 村として状況を把握し、県にしっかりと要望します。県任せにせず、河道掘削の残土処理扱いを含め、担当課と連携して見極めた

内村負担は、1億300万円程となっています。

問 村内の県管理河川整備をどの様に整備していくのか。

村長 村の長期財政状況について伺います。補正予算後の一般会計が72億円強の状況です、激甚災害指定により、多くの助成が見込まれますが、今後の財政見通しを伺います。

村長 県での対応が難しい場合には、県と協議の上、村として可能な対応を検討していきます。

問 村の長期財政状況について伺います。補正予算後の一般会計が72億円強の状況です、激甚災害指定により、多くの助成が見込まれますが、今後の財政見通しを伺います。

村長 災害に係る予算は総額22億3050万円、うち一般財源6億2649万円、各施設の単独災害復旧工事が1億3740万円です。今年度末の基金残高は、財政調整基金・減債基金・ふるさと応援基金全体で4億6千万円の減少を見込んでいます。今後の予算編成は、各種事業選択や平準化、經常経費の削減、国・県の補助金の確保、有利な起債の活用にあります。

問 交通量や来場者が減少している中で、高麗館の維持費を含め、立ち止まるという事も必要では。どのように考えているか。

村長 道の駅レジカウンター数を例年国に報告している利用者数は前年一月より100人強が減っている状況です。今年度の利用者状況を見極めながら、韓国料理や韓国の商品販売や韓国を前面に出した運営をし、更なる利用拡大に繋げていきたいと考えています。

開通に伴い、村の施設である高麗館に於ける、来客状況と今後の見通しを伺います。

令和6年7月豪雨災害の復旧状況は

問 現時点での各課にお



鞭打野陽水機場

今後の高麗館の展望は

問 新庄古口間高規格道路

※サウディングとは
民間事業者との意見交換などを通して、事業に対しさまざまなアイデアや意見を把握する調査。

村長 村として47号線の交通量を調査し、高麗館のあり方を考えていきます。サウディング型市場調査を実施していきます。

災害関連について

問 村内の災害関連ヶ所は全て復旧に向けて計画済と思います。雪解けでさらに危険度が増すと予想されます。村長の考えは。

村長 被災箇所の融雪期の対応について現場管理を徹底し安全対策に努めます。来年度発注の箇所はパトロールを行いながら状況を確認する予定です。

問 住民の方はこの災害工事が、いつ始まるか知りたいたと思っています。周知を図るべきでは。

建設水道課長 工事を発注する際に、近隣住民の方に説明したいと思います。

問 今回の災害とは別に新たに災害が予想される所に、図面を用いて注意喚起を行っている自治体があります。村において注意喚起を行う考えは。

村長 新たな災害が予想される箇所の注意喚起については、山形県土砂災害警戒システムの公開情報を防災座談会開催時に情報提供を行い、指定避難所への意識づけを行うなど、今後も防

一般質問



荒川和明 議員

災減災に努めます。



皿嶋地区災害復旧工事

企業誘致について

問 今年度、村内事業所の撤退が予定されています。働く場がないと人口減少につながると思います。企業誘致や働く場の確保をどのように考えているのか。

村長 企業誘致は人口減少対策として有効な施策であります。企業誘致の業種や規模、誘致場所の選定等々、地域との合意形成など慎重に検討を重ねる必要があります。

問 村内企業、事業所を調査し、その結果を踏まえ助言や補助を行うことはできないか。

村長 村内には、210の事業所があり、企業や事業所から相談等いただければ、商工会と村が連携し対応してまいります。

問 新庄市には空き店舗出店支援事業がありますが、戸沢村で空き事業所を利用

できるように支援する考えはないか。

村長 企業支援交付金として最大100万円を予算化しております。

問 村内で就労目的の外国人労働者は何社で、それぞれ何人いるでしょうか。

村長 3社で30人です。

問 外国人労働者は、自転車や徒歩で新庄に行っていることがあるようですが戸沢村は国民保険発祥の地でもありますのでなんとかならないか。

村長 その方々には、自転車や歩く文化があると思われる。商工会で話し合う場があれば、お話しさせていただきます。

一般質問



安食 勇 議員

被災者が求める情報提供と
寄り添う語らいの施策は

問 防災集団移転を含めて知りたい情報を周知させ少しでも不安が解消する取り組みが大切。相談を含めた、寄り添う説明の考えは。

村長 地区会と連携し重要事項については説明会を行う。事業の進捗や質問に関しては広報紙を郵送し、情報発信に努めていきます。

民家周辺の土砂崩れ
又は堆積した砂防堰
堤の対策は

問 災害を危惧し不安がる住



綱取の土砂災害力所

民に対し安全対策と避難対策等の情報共有への取り組みは。

村長 宅地周辺の土砂崩れについては、本年度予算を繰り越し、引き続き対応していきたい。砂防堰堤に関しては、国や県施設からは避難等に関する情報は出ないと認識して

います。

問 不安を抱える住民が躊躇なく避難ができる安全安心の対応と、周知をお願いしたい。

村長 箇所を把握し、県、国の機関に伝えることは大前提です。一番大事なのは各自自分の命を守る行動は大切です。避難に関しては指針を今後、示していきます。

悩まれる企業に対し
ての村としての取り
組みは

問 地域振興には少子化対策、又は雇用創出が必要。悩まれる中小企業に対して県や行政支援機構などに、村として橋渡しは必要。

今後取り組み考えは。



名高の土砂災害力所

まちづくり課長 制度的なところを確認しながら今後、施策の検討を考えていきます。

住民参加型の農業振
興へ向けた施策の考
えは

問 担い手、人手不足で離農が増える現状です。持続可能な農業を振興させ地域活性化に繋げる為にも住民参加型パートナー等、又は65歳以上の方々の協業を図る考えは。

村長 県では農業のアルバイトが出来るようにデイワークのアプリ活用を進めている。又、お試し就業や就農特化型地域おこし協力隊の募集なども実施していけるよう検討します。

問 未来の担い手にも繋がる農林専門職大学との連携を図るべきではないか。

村長 これからの農業をどう図るかを担当課と協議していく。

手軽なスイーツで振
興に繋ぐ、とざわ道
の駅のあり方は

問 交通量が激減する中で需要を求めて来場する仕組みが必要。人気ジェラートや当地ソフト等、更にスタッフが考える計画案などを反映させ、振興に向けた考えは。

村長 スタッフのアイディアを受け入ながら、現状も見極め検討していきます。

今神の湯を少しでも
活用して元気に振興
させる考えは

問 権利者との交渉が前提になりますが、仮に3ヶ月間に1から2回位にぼんぼ館（薬草風呂）に名湯を割って入れ健康や元気になる話題性も必要。わずかな資源活用での振興に繋げる取り組みは。

村長 時間は要すると思われるますが、せっかくの資源があるので関係者との情報も含めて今後検討していきます。

豪雨災害復旧復興策について

問 今後の災害に備え、どのような村づくりを進めるのか。

二回の訓練は必要と考えています。

村長 災害を教訓に、高齢者等、各種避難の有り方を検討し、避難所、ボランティアセンターの運営の訓練を行います。

問 昨年は7月の災害により、例年9月に行っている防災訓練が未実施となっています。梅雨時前の訓練の考えは。

村長 大きな訓練ですと人が集まるか心配ですが、年

問 集団移転を進めるうえで被災者の不安を取り除く為にも、他市町村の過去の事例を蔵岡住民にサンプルとして情報提供すべきでは。

村長 地区での混乱を防ぐ為、他県や他地区の例を参考に説明は出来ません。

問 村外への移転希望者もおります。また、情報不足への不満を持ち、移転場所の選定に時間がかかりすぎたことで故郷を去った事例



国交省の移転参考図

が多くあります。被災者はどこに、いつ転居するのか、補償額はどれ程なのか心配しています。住民の不安を払しょくするためにも、全国の移転のサンプルを提示すべきと考えます。村長の考えは。

村長 各自治体での進め方は異なります。地区での混乱を防ぐ為にも進捗状況等の情報発信を広報紙等で実施してまいります。

問 集団移転を進めるにあたり、人口減少を食い止める為にも、移転候補地買収時、土地の確保等、都市計画の考えは。

村長 現段階では蔵岡地区以外の実施は考えていません。

問 村が合併して70年になります。当時の人口は11454人で、その後一度も増えていません。村合併前は21世帯あった杉沢地区ですが現在は4世帯です。水道、村道等のインフラ整備の遅れが少なからず影響しています。世帯数が減少している地区についても検討すべきでは。

村長 将来世帯数の激減が危惧される地区の住民には、真柄地区内に整備中の分譲地に移転して頂くように説明していきます。

問 商工会、建設職工組合等、村内事業者の村の重要性和、村内事業者への発注の考えは。

村長 防災集団移転事業を進めていく中で、集合住宅整備が必要となった際は検討します。

問 子育て応援住宅整備はハウスメーカーが受注しました。地元企業の活用的重要性をどのように考えているのか。村内事業者を大切にするべきでは。再度考えを示してください。

村長 状況に沿って検討して参ります。

一般質問



柿崎英矢 議員



一般質問



荒木 誠 議員

今後の農業について

問 後継者を確保できない農家のため、村の経営継承の考えは。

村長 経営継承や新規就農者支援については、国や県の補助事業を活用しています。具体的な補助メニューに経営継承・発展等支援事

業などの各種補助金があります。山形県農業支援センターにおいて各種補助メニューなど各農業者の経営状況・要望に合わせ相談も受けられます。
「ティワーク」農業用アルバイトアプリも活用でき、出会から継承へのマッチン



名高1段揚水機場

グも期待されています。経営継承については。村としても個人の財に関するもので、慎重な対応が必要と考えており、円滑に活用されることを期待します。

高麗館の活性化について

問 年間の来場者数と今後の見通しの考えは。

村長 昨年の12月に「新庄古口道路」が全線開通しました。国道47号線の交通量は減少していると推測されます。

道の駅とざわの推計利用者数の状況は、令和4年度が21500人弱、令和5年度は21700人弱、令和6年度は災害の影響もあり1月末現在で17700人弱となっています。

交通量の影響もあるかと思いますが、極端に利用者が減少していないことから高麗館を目的として訪れていると考えています。韓国風の建築物を強みとして、韓国料理や韓国の商品販売、

チマチヨリ試着体験など、韓国を前面にだして運営していきます。またランタンフェスタをはじめとした様々なイベントを開催しながら更なる利用者拡大につなげていきます。しかしながら施設については現在27年が経過しており、老朽化の進行は著しく修繕等の整備が劣化のスピードに追いついていないのが現状です。

問 日韓親善はどのような交流をしているのか。

村長 平成9年に韓国文化を紹介するテーマパークとして高麗館が建設されました。現在では「在日本大韓



高麗館「チャンスン」

民国民団山形県地方本部」と連携して、高麗館の外壁塗装、案内看板の修繕支援や入口付近の韓国の木造「チャンスン」9体を提供いただいています。また、7月の豪雨災害時には支援物資の提供をいただいています。7年度には民団と連携し村制7周年記念事業を行い、今後も連携しイベント等を行っていきたいと考えています。

問 農業技術交流、婦人・児童交流をしていましたが今後の交流の考えは。

村長 昭和60年ごろに村の農業青年によって始まった「アジア学院」の留学生と交流があり「戸沢村国際交流協会」が発足されました。現在は「アジア学院」と連携して農村研修を継続しています。戸沢学園では6年度より国際交流として、台湾の中学校とオンライン交流を実施し、違う国との互いの文化など広い視点で考えるきっかけとして台湾との交流を始めています。

常任委員会報告

3月10日開催

総務文教常任委員会

3月10日、総務文教常任委員会を開催しました。受理した2件の請願を採択すべきと決定しました。

また、今後の協議事項として、子供の数の減少による学習環境・学校運営、高齢者世帯、独居老人世帯の見守り体制の見直し等を喫緊の課題として取り組んでいくことを確認しました。

総務文教常任委員会
委員長 安食 勇

産業建設常任委員会

3月10日に産業建設常任委員会を開催し、これまでの二年間、委員会で協議した内容の確認と、9月役員改選までの協議内容等を話し合い、災害復旧復興や戸沢ファーム異臭問題、空き家対策、人口減少対策等の意見が出されました。今後も、村民が安心できる対策を進めて参ります。

産業建設常任委員会
委員長 柿崎 英矢



議会日誌 (1月～3月)

1月

- 5日 戸沢村建設職工組合新年会
- 10日 令和7年もがみ地域経済3団体共催事業新年賀詞交歓会
- 15日 もがみ北部商工会戸沢支部新春のつどい
- 21日 議会広報常任委員会
- 24日 議員全員協議会
第1回臨時議会
農林水産大臣表彰及び最上農業賞合同祝賀パーティー
- 28日 山形県議会総務常任委員会行政視察
- 29日 例月出納検査
みちのくウエストライン要望会

2月

- 5日 議員全員協議会
- 9日 第10回角川雪回廊物語
- 12日 山形県町村議会議長会第75回本会定期総会
- 18日 予算内示会
- 19日 最上県勢懇話会例会
- 20日 例月出納検査
最上市町村議会議長会2月定期総会
最上地方町村議会議長会2月定期総会
最上地方市町村議会議長・副議長合同会議

- 21日 最上広域市町村圏事務組合議会議員懇談会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 最上地区広域連合 議会運営委員会・議員全員協議会
- 27日 議員全員協議会

3月

- 3日 TOZAWAツーリズム協議会役員会
- 4日 最上地区広域連合定例会
- 6日 定例会（本会議）
- 7日 予算特別委員会
- 10日 予算特別委員会
各常任委員会
- 11日 定例会（本会議）
- 13日 TOZAWAツーリズム協議会役員会
- 14日 戸沢村立戸沢学園卒業証書授与式
- 19日 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会
消防新庁舎現場視察
- 21日 議員全員協議会
第2回臨時議会
- 22日 湯沢市市制施行二十周年記念式典
- 24日 例月出納検査
- 25日 最上広域市町村圏事務組合議会3月定例会
最上地方町村議会議長会3月臨時総会
- 26日 議会広報常任委員会

お詫び 令和7年2月発行の154号において、13ページ下段に掲載した写真に誤りがありました。関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

ご卒業おめでとうございます。



戸沢学園第4回卒業式が、令和7年3月14日に行われ、9年生25人が学園から巣立ちました。

議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

6月6日(金)～10日(火)

本議会は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局 ☎72-2113にお問い合わせください。



3月26日 戸沢保育園卒園式

編集後記

表紙の言葉
昨年の7月の豪雨災害による農地と揚水機場の復旧工事が、急ピッチで進められています。今年の作付けに向け種まきが行われています。安全な農作業と豊作で、お米の安定供給による適正な米価になることを願っています。

令和7年戸沢村合併70周年になります。1955年4月1日、旧古口村・旧戸沢村・角川村が合併し古口村へ、同5月1日に改称し今の戸沢村が誕生しました。
合併当時は人口11,155人で、1,788世帯、今年3,814人で1,506世帯スタートと人口減少が加速化し続けています。全国的な課題もありますが、一人一人がこの問題解決に立ち向かわなければと考えさせられる今日この頃です。

議会広報常任委員会

副委員長 阿部 光樹